

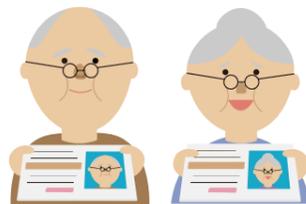
# 高齢者運転による事故対策は

(平成30年9月議会)

**質問** 全国的に見ても高齢者による自動車運転事故が多く、人命にかかわる重大事故となっています。高齢者が自家用車の運転に頼らない生活環境を作るのも行政の責務ではないかと思えます。町のコミュニティバスは、比較的走りやすい道路での運行ルートが多く、公共交通機関との乗り継ぎなど、まだまだ課題があります。利便性を向上するための町長のお考えは。

**答弁** 75歳以上の方々の免許証返納制度を計画しています。返納された方に、初乗り基本料金を助成することを考えています。高齢者が免許証を返納しやすいよう制度を整え、来年度から施行する予定です。また、コミュニティバスについては、バスの小型化を図り、狭い場所や山間部、交通不便地域をできる限り細やかに運行させたいと思っています。

**進捗状況** 平成31年4月1日から、高齢者運転免許証自主返納者(75歳以上85歳以下)に対し、助成事業を開始しました。毎年4万円相当のICカード乗車券を交付するもので、12月1日現在で、80名の方が申請されました。また、コミュニティバスのルート検討に関する業務委託を2か年計画で進めており、小型バス導入などルート再編に向けた準備を進めています。



助成事業についてはこちらから



須恵町ホームページ

# 追跡 一般質問のその後

執行部の答弁は実行されているのか?

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。

## 学童保育の待機児童解消を

(令和元年6月議会)

**質問** 子育て世代の人口増や学童保育対象が小学3年から6年に拡大(27年度)された影響などで、今年度第一小学校の学童保育入所の待機児童は27名となっています。施設の増築等の対応についてお聞きいたします。

**答弁** すこやかコミュニティセンターには、第一学童保育所とコミュニティ事務局が入っています。今後は、全館を学童保育所として活用し、コミュニティ事務局は、校長にお諮りして、当分の間、第一小学校内の空き教室を整備して活用してもらうように考えています。

**進捗状況** **経過** 文教厚生委員会にて視察をおこない、施設の状況把握と保護者の意見を聞きました(担当課同行)。保護者より、2階の窓に格子の設置と階段手すりの高さを高くして欲しいとの要望がありました。委員会としても、安全上、設置すべきとの結論となりました。

**その後** 10月31日に、窓格子の設置と、階段手すりの高さを上げる工事が完了しました。11月1日には、待機児童の受け入れを開始し、全員が学童保育所に入所でき、待機が解消されました。現在は、安心安全な居場所を確保でき、子ども達も、のびのびと生活しています。



## 研修レポート

### 持続可能な森林を目指して

去る10月29日、長崎市民会館文化ホールで開催された「森林・林業・林産業活性化九州大会」に議長をはじめ、5名で参加しました。

持続可能な社会と今後の森林管理についての基調講演があり、感銘を受けました。特に印象的だったのが「豊かな森、役に立つ森を創るために木を伐って使って植えよう」木を使う社会を取り戻す事が持続可能な社会における日本人の使命だと力説された事です。

里山の森林が使われなくなって荒廃し、手入れが行き届かずに広葉樹や竹林の繁茂となって、人が入れなくなっているのが現状です。

間伐等を適切に行う森林管理は、土砂災害防止だけでなく生物多様性保全等の森林の多面的機能を発揮し、「良質の木材」という日本人が長く利用し続けてきた価値ある自然資源を供給してくれる大切な私たちの財産だと言えます。

手入れを行い、有効活用することが未来への課題だと感じました。

